プリンセス 小公女セーラ

第4話

『新友アーメンガード』

AR台本

企画
制作
日本アニメーション株式会社

プリンセス
小公女セーラ

第四話　『新友アーメンガード』

登場人物

セーラ……………島本須美
ミンチン先生……………中西妙子
アメリア……………梨羽由記子
ピーター……………坂本千夏
アーメンガード……………八百板万紀

ラヴィニア……………山田栄子

ガートルート……………佐々木るん

ジェシー……………中野聖子

ディファルジュ先生……………上田敏也

イライザおばさん……………

花屋のおばさん……………

アーメンガードの父……………

ボナパルト……………

カメラ	画面	音声
1	ディファルジュが女性の仕草で画面に向って挨拶する	ディファルジュ先生「コマン・タレヴ〜アアント…」
2	A・C 女性の仕草で丁寧に挨拶するディファルジュ →起き上り、すました顔から、にっこりする	
3	おかしさをこらえている児童たち	
4	手前セーラ　愛想よく教卓の方へくるディファルジュ ずれ落ちる眼鏡も気にせず眺め回す	ディファルジュ先生「コマン・タレ・アアント！」叔母さん、ご機嫌いかがですか？…と云う意味だね……、アーン……誰にしよう」
5	平然としているセーラ　顔をかくす者、うなだれる者、いろいろいる　はっとなって顔を上げる　一同アーメンガードを見る	(off)ディファルジュ先生「アーメンガード、読んでごらん」

6	7	8	9	10	11
こぶしをにぎりしめ、悲しい顔でうつむいていくアーメンガードを？で見つめるクリステル チラリとクリステルを見る オズオズと立ち上がるアーメンガード	教科書のかげ、笑ったり、馬鹿にしたようにクスクス笑うジェシーやガートルードたち	読もうとするがなかなか読めないアーメンガード しどろもどろでつかえるアーメンガード	唖然となるディファルジュ、ずれ落ちる眼鏡	必死に読むアーメンガード	どっと笑うラヴィニアたち
		アーメンガード「コ…コ…ゴメン…」	ディファルジュ先生「あ…!?」	アーメンガード「…コ…コ…コメント…アレ……ブス…」	

	PAN← うなだれるアーメンガード　キッとにらむセーラ あきれるディファルジュ アーメンガードの方を見て 困り果てるアーメンガードを振り返り見るセーラ 泣き出しそうな顔になり、しどろもどろに読む アッとなるセーラ		ディファルジュ先生「お…お…！　ノンノン… …！　もう一度」 アーメンガード「コメント…アレブス……ア… アンテ……」
12	手を拡げ肩をすくめるディファルジュ		off「児童の笑い声」 ディファルジュ先生「…オウ…！」
13	笑うジェニファとダイアナ 立って悲しげな表情のアーメンガード		
14	笑うラヴィニアを見るセーラ ラヴィニア、チラリとセーラを見るが、フンとした顔をして、そらし、笑っている　セーラ後を振り返る、本を立てながら		

A・C

	A・C		
15	本で顔をかくすようにしてささやくセーラ		セーラ「コマン…タレブ…よ」 off ディファルジュ先生「…セーラ君」
16	はっとなって正面を窺い見るセーラ ディファルジュ先生セーラの前に立つ ほっとした顔で返事をする 立ち上る		ディファルジュ先生「…読んであげたまえ」 セーラ「ハ…ハイ」
	A・C		
17	立ち上り、振り返りアーメンガードを見るセーラ アーメンガード、上目使いにセーラを見るたよりなげにうなづくアーメンガード たどたどしく読むアーメンガード		セーラ「いい……」 セーラ「…コマン・タレブ・アーント」 アーメンガード「コ、マンクレブ・アント」
18	相好をくずす		ディファルジュ先生「…ウイウイウイ…それでいいんだよアーメンガード君」
19	C#17兼用書き足し 振り返りにっこりするセーラを見て、恥かしげに笑うアーメンガード		S・E（終了の鐘の音）
20	座るアーメンガードとセーラ		ディファルジュ先生「では…今日はここまで…」

	一同ほっとした顔で先生を見る		オ・ルボワ・マドモワゼル」 一　同「オ・ルボワ・ムシュ・ディファルジュ」
21	満足げにオーバーに喜んで、机の上の教科書をかかえて愛想よく去るディファルジュ 立ち上り、大きくのびをするジェシー		S・E（扉の開閉音。わーとさわぐ児童の声） ジェシー「あ……あ…」
	A・C		
22	奥を元気よく本をかかえ出ていくクリスティンとダイアナリンダが明るく去っていく ジェシー、アーメンガードの近くに寄り、のぞいて振り返り、一寸きどったポーズをとり悲しげな表情でうつむくアーメンガード		ジェシー「コメント・アレブス・アメンガード」
23	笑うラヴィニアとアーメンガード		二　人「アハハハ……ハハー」
24	笑うジェシー、うつむいて小さくなるアーメンガード。アーメ		

	ンガードを見ていたセーラ、キッとなって はっとなってセーラを見るジェシー。上目使いでセーラを見るアーメンガード		セーラ「人の失敗を笑うなんて、いけないわ」
25	一度はきっとなってセーラの方を見るが、フンといった顔でセーラの方に近づくラヴィニア一歩二歩と 調子にのるガートルード		ラヴィニア「そう…あなたはお上手よ…お母さんがフランス人ですものね」 ガートルード「そうよ…鼻にかけないでよ」
26	唖然となった顔をしているセーラ、目線は入ってくるラヴィニアを追う		(off)ラヴィニア「…それにひきかえ…… 〜〜〜
27	いやみたっぷりにちらりちらりとアーメンガードを見ながら		(on)この学校にはフランス語だけでなく、なにをやっても 〜 だめな人がいるのよ」
28	うつむいているアーメンガードを見おろしながら行くジェシー ミンチン先生の真似をしながら。 顔をそむけるアーメンガード		ジェシー「…何です貴方は！ そんなことが出来ないとは、学校の恥です！」

29	顔を見合せて笑うラヴィニアとガートルード。笑って見おろしているジェシー		一同「フフフ…ハハハ〜〜〜〜〜
30	小さくなっているアーメンガード		ハハハ…‼〜〜〜
31	笑っている三人（ジェシー二人の方を見て笑う）アーメンガード立ち上り小走りに手前に逃げてくる はっとなり、振り返り見るセーラ。三人、一度は笑いを止め、見送るが又顔を見合して笑い出す		…」 三人「アハハハ〜…」
32	部屋の隅に行き小さくなっているアーメンガード		
33	きっとなって振り返るセーラ		セーラ「やめなさいよ笑うの‼」
34	はっとなって笑いをやめ、セーラの方を見下ろす三人		

35	ゆっくりと立ち上がるセーラ 唖然とした顔で見つめている三人を見回す		
36	最后にラヴィニアのところで止り		セーラ「人のことをばかにして笑ったりしてはいけないわ！」
37	にらみながら、ラヴィニアの方に寄っていく二人。ジェシーとラヴィニア顔を見合せてニヤリとする。セーラの方を見て前にくる。ラヴィニア一寸いやみに云う		ラヴィニア「あなた…とてもやさしいのね。 〜〜〜 あんなやっかいものをかばうなんて…」
38	奥で小さくなっているアーメンガード		
39	ジェシーとガートルード大きくうなづき合う 含み笑いをするラヴィニア 三人顔を見合せて笑う		ジェシー「ほんと…私達にも…」 ガートルート「…やさしくしてね」 ラヴィニア「フフフ……」 ジェシー、ガートルート「フフフ……」
40	じっと見つめているセーラ		

41	顔を見合せて首をすくめて笑っている三人。はっとなりセーラの方に気づくガートルート、ラヴィニアも向いてはっとなる		ラヴィニア「…!? なに…なによ!」
42	兼用C#40 セーラ見つめている		
43	にらむ三人		ラヴィニア「…だまってたのでは判らないじゃないの…」 ジェシー「何かいったらどう…!?」
44	兼用C#42 セーラT・U尻止		
45	ー間ー ゆがんでいくくちびる 少し顔をそむけるように後退する。ツンとして去るラヴィニア		ラヴィニア「フン…かーっこをつけてるだけじゃない……。いきましょ」 〜〜 （こぼし）
46	ツンツンとして去るラヴィニア 二人、ラヴィニアを見ていたがセーラを一瞥して扉の方へ走る 見送っているセーラ		S・E （扉を開ける音）

47	扉口でセーラの方を見て、扉をバタンとしめて去る三人		
48	扉の方を見つめているセーラと隅に立つアーメンガード 振り返るセーラ　A・C		
49	振り返り見るセーラ		
50	うつむいているアーメンガード　T・U		
51	兼用書きたし　見つめていたセーラ歩き出す		S・E（コツコツ〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜　足音）
52	小さくなっているアーメンガード		
53	窓辺をあるくセーラ止まるセーラ		
54	振り向くアーメンガード		

55	ニッコリと笑う		
56	C＃54兼用サイズ　どぎもぎして顔を元にもどすアーメンガード		
57	驚いてセーラを見るアーメンガード		セーラ　「元気を出してアーメンガード」 アーメンガード「……!?」
58	C＃55兼用書き足し　やさしい顔のセーラ		
59	もじもじと手をこねているアーメンガード、はずかしそうに		アーメンガード「…先刻……ありがとう…」
60	セーラ、にっこりとして、アーメンガードに近づく　アーメンガードの手を握る。アーメンガードの口許に笑みが浮かぶ。セーラも笑いで返す		セーラ　「いいのよ…そんなこと」
61			

No.	画面		台詞
62	冬の空に枯れた木のこずえ		
63	冬のこずえと学院の教室の窓 T・U（密マルチ）頭止T・U O・L		
64	O・L		
65	二人しばし無言 ー間ー アーメンガードを又、見るセーラ。つられて窺い見るアーメンガード		
66	にっこりするセーラ		
67	つられて微笑するアーメンガード		
68	見つめ合っている二人 ー間ー		アーメンガード「あなたみたいな人……はじめて…」 セーラ「え……どうして?!」 アーメンガード「だって…私、学校中で一番、一番勉強が出来ないの 〜

69	顔を元にもどすアーメンガード		…そして…～のろまだし……」 セーラ「いけないわ…自分でそう決めては」
70	セーラを見て淋しげに笑うアーメンガード		アーメンガード「……私…あなたみたいに出来たら…よかった…フランス語…」
71	明るく微笑まじりの顔で		セーラ「お母さんがフランス人で、生まれたときからずっと聞いて育ったからなのよ。だれだってしょっちゅう聞いていれば話せるわ」
72	首をはげしく振る　ゆれるおさげの髪 ぐっとのり出して		アーメンガード「ううーん!!　…だめなの…きいたでしょ、さっき…フランス語…どうしてもいえないの…… …だってフランス語って、へんな言葉なんだもの…」
73	微笑してアーメンガードを見ていたが、窓の方を見るセーラ		
74	窓ガラスを通して見える木のこずえ、小鳥が遊んでいる T・U　たわむれ遊ぶ小鳥		

75	じっと見つめるセーラ アーメンガードの方を見て、笑い顔で	セーラ　「ね…私の部屋に来ない？」
76	微笑してうなづくセーラ やや身をのり出すアーメンガード。ぽんと床に飛びおりるセーラ	アーメンガード「え…見せてくれるの？」 セーラ「あなたに、エミリーを紹介したいの」 アーメンガード「誰なの、エミリーって」
	A・C	
77	アーメンガードの手をとるセーラ。ぽかんと見つめるアーメンガード	セーラ　「……私のお友達よ」 アーメンガード「え…!?」
78	セーラを先に二階の階段を昇ってくる二人　頭空ブチイ 先に昇っていくセーラ。手すりにつかまり、セーラの背を見つめて止るアーメンガード。セーラ止まる	
	A・C	
79	振り返るセーラ	セーラ　「どうしたの？」 アーメンガード「だって…用がないのに三階に

カット	画面	秒	セリフ
	セーラ下りて来て アーメンガードの手をとり微笑えむセーラ		上ってはいけないって…ミンチン先生が……」 セーラ「大丈夫よ、あなたは、私のお客様なの！」
80	キョトンとした顔のアーメンガード。明るいセーラにっこり笑い、うなづくアーメンガード。手を引いて昇っていく二人 out する		アーメンガード「私…あなたのお客様…!?」 セーラ「そうよ…だからちゃんと用があるじゃないの……行きましょ」
81	階段を昇っていく二人 にこにことして……		
82	オドロイた顔で眺め回すアーメンガード		アーメンガード「ワ……!!」
83	天井PAN・D 廊下と扉 （頭からPAN・D 尻止）		
84	感心した顔で眺めているアーメンガード。笑って案内するセー		

	ラ。扉の近くに来たセーラ、アーメンガードを制する。？となって止るアーメンガード		
85	声を落してささやくように		セーラ「エミリーはね、私がいないとき、いつもお部屋を歩き回ったり、窓から外を眺めたりしてるの……〜 ……！でも、私が帰ってくると、パッと動かなくなってしまうのよ」
86	啞然とした顔をするアーメンガード あわててアーメンガードの手をおさえるセーラ		アーメンガード「……どして？」 セーラ「シィ——ッ〜〜〜
87	口にあてた手を下に降ろす		……もしかすると今日はエミリーが歩き回っているところを見つけられるかもしれないわ…。いい？…いち、にいの、さんで飛びこむのよ」
88	ゴクンと生つばをのみこんで、叩頭するアーメンガード にっこりとする		アーメンガード「……!!（ゴクン）…え…ええ……」

89	ウインクをしてにっこりと笑うセーラ　扉の方を向く		
	A・C		
90	身を沈めるように身構える二人 顔を見合せて真剣な顔でうなづき合う　ノブを握るセーラ T・U（早い、声に合せて段階をつけて）　扉を開ける（勢良く）		セーラ　「いち、にの、さん…！」
91	扉、勢良く手前に開いて　飛びこんでくるセーラとアーメンガード　踏みとどまり、アッとなるセーラ		
92	本を膝にしたエミリー		
93	大仰にざんねんがるセーラ 唖然として見つめるアーメンガード　前に出てくるセーラ		セーラ　「あ…あ、まただめだったわ…！」
94	椅子に手をかけ、　メという顔をして		セーラ　「エミリー!!　私たちに見つかるより早く、椅子に座ってしまったのね!?」

	近づいてくるアーメンガード、エミリーを見つめて本をもっておき上り 扉の方へ去るセーラ　一寸見送るアーメンガード、へーと感心顔で　エミリーをのぞきこむアーメンガード		アーメンガード「……エミリーって！…人形なの」 セーラ（on～off へ）「ええ…いつもこうなの…、エミリーったら、稲妻みたいに素早いのよ」
95	エミリー		
96	不思議なものを見つめる目付で		アーメンガード「ほ、ほんとに…動くの！」
97	扉をしめ終り振り返るセーラ 明るく オームの方を見るセーラ		セーラ「勿論よ！　私がいないときはオウムとだってお話してるに違いないわ」 (off)オウム「セーラ～
98	篭の中のオウム		セーラ…」
99	驚くアーメンガード、目をパチクリして　C#　兼用書き足し		アーメンガード「ほ…ん、と…だァ…!!」
100	テーブルに本を置き微笑するセ		セーラ「……でしょ」

101	セーラの方を見て大きくうなづき、エミリーの方を見る		
102	エミリーをじっとのぞきこむアーメンガード		
103	じっと見つめるアーメンガード好奇心のかたまりのようになって見つめる		
104	人形エミリーを見つめているアーメンガード　セーラ入って来て止まる。アーメンガード、セーラを見上げて		アーメンガード「…ね…この子、抱いてもいい」
105	セーラ、うなづき		セーラ　「勿論よ、もう、あなたとお友達だわ」
106	にっことして、恐る恐る手をのばし、エミリーをだきあげるアーメンガード		
107	傍らのセーラを見上げて微笑むアーメンガード。見つめている		

No.	内容		セリフ
	セーラの顔はやさしい微笑である。抱きかかえようとするアーメンガード		
108	エミリーの目が動く		
109	感嘆するアーメンガード		アーメンガード「あ……!! 〜 ……動いた!!　…本当に…動いたわ!」
110	まじまじと見つめるアーメンガード		
111	アーメンガード、セーラを見上げる。セーラ微笑してうなづく アーメンガード、エミリーを見つめる		セトラ「……きっとエミリーは、あなたが好きなのよ」 セーラ「…あなたに抱かれると安心するのよ」
112	立ち上がり、抱き上げ、まじまじと見つめるアーメンガード 胸の中に抱くアーメンガード エミリーをじっと見つめ		アーメンガード「可愛い……ほんとに! 〜 今にもお話ししそう……」
113	抱いているアーメンガードを見つめているセーラ		

	セーラ、寝室へ歩みかけ		セーラ「さ…向うの方が楽にお話し出来るわ」
114	寝室　空ブタイ　扉が開いてエミリーを抱いたアーメンガードが恐る恐る室内をのぞく。入って来て周囲を見回すアーメンガード。にこにことしているセーラ。ドレッサーを見て		アーメンガード「わ…すごい！」 〜 （こぼし）
115	鏡にうつるアーメンガードとセーラ。アーメンガード手前に来るために鏡の中からFr・outする		
116	部屋を珍らしげに見て回るアーメンガード		
117	ベットに座るセーラ。アーメンガードも来て座る。大仰におどろき、飛び上がり。手でベットを押して笑ってアーメンガードを見るセーラ。座るアーメンガード		アーメンガード「わァー、フワフワ………… 私のベットなんてゴツゴツ」

118	尻でベットの感触を味わうアーメンガード、チラリチラリとセーラを見る。モジモジと喋り出す 微笑して 照れくさそうに笑ってセーラを見つめて	アーメンガード「…ねえ…セーラって呼んでいい？」 セーラ「勿論よ」 アーメンガード「あたし…あなたの名前、…大好き」
119	アーメンガード、宙を見る セーラを見るアーメンガード 微笑して首を振り	セーラ「どうして？」 アーメンガード「だって、私の名前…アーメンガード・セント・ジョン…変な名前…でしょ」 セーラ「素敵な名前だわ！ 私、好きよ！」
120	うれしそうに笑って、見回して アレとなって見つめる	
121	テーブルの上の写真	(off)アーメンガード「…お父さんとお母さん？」
122	のぞきこんでいるアーメンガード アーメンガード、セーラの方を見る	セーラ「ええ…私いつもエミリーとお父様のお話ししてるの……。お父様いまなにをしていらっしゃるかとか…エミリー私、お父様にお約束したのよ〜

No.	画面		台詞
123	見つめているアーメンガード、 微笑している うらやましいアーメンガード		淋しくても我慢しますって…とか」 アーメンガード「…セーラ、お父さんが好きなのね」
124	微笑して大きくうなづき、明るい声で		セーラ「ええ、世界中で誰よりも！」
125	一度は微笑して答えたが、…うなだれるアーメンガード T・U ー密マルチー（カット一杯）		アーメンガード「私…お父さんに、お人形を買って貰った事なんて、……一度もないわ……」 セーラ「まァ…」 アーメンガード「私のお父さんって……大学の教授なの……」
	O・L		
126	本を読んでいる父 T・U		off アーメンガード「…外国語が七つも八つも出来て、いつも書斎で本を読んでいるわ」
	O・L		
127	C# 兼用 T・U后のサイズ		アーメンガード「だから、頭の悪い私を嫌いみたい…、私をこの学校に預けに来たときも」
	O・L		
128	ミンチン先生を前に話す父親		アーメンガードの父「ミンチン先生、この子に

カット	画面		セリフ
	うつむいているアーメンガード		は無理にでも憶えさせて頂くしか他ありません。歴史でもフランス語でも…」
129	うなだれるアーメンガードと父		(off)アーメンガード「家にいたときも、いつも云われてたわ」 アーメンガードの父「矢っ張り、お前の頭の悪いのはイライザ叔母さんのせいだな」
	O・L		
130	C#125兼用　うなだれているアーメンガード　T・B（カットの頭から）密マルチで入ってくるセーラ、あきれた顔で セーラを見るアーメンガード 肩をすぼめてくすんと笑う 立ち上がるアーメンガード		セーラ「まあ…、でもイライザ叔母さんて？」 アーメンガード「お父さんの妹なの。ロンドンに住んでいるけど、すごく忘れっぽい人、私そっくり…フフフ…あ…！　大変！…」
	A・C		
131	立ち上がるアーメンガード、ゆれるお下げの髪の毛 セーラの方を向いて		アーメンガード「忘れてたわ」 セーラ(off)「どうしたの?!」 アーメンガード「今日ってイライザ叔母さんの誕生日なの。遊びに行く約束だったの！
132	イライラしているアーメンガード		〜 どうしよう！」

	133	134	135	136
笑顔になるセーラ 立ち上がり くるりとセーラを見て くるりとセーラに背を向けるアーメンガード	A・C くるりと振り向き、今にも泣きそうな顔になって　うなだれる 唖然と見つめていたセーラ。明るい顔で 泣き出しそうな顔がセーラを見るが淋しく笑顔を見せてうなづく。にっこりするセーラ	窓辺に立ち、考えこんでいるアメリア		近づくセーラ
セーラ「まあ…！ いいわ… アーメンガード、私が馬車で送るわ」 アーメンガード「駄目よ!! 外にいく時は前の日までに、…院長先生にお許し頂いとかなきゃ……！」	アーメンガード「…あ……あ……、どうしよう」 セーラ「判ったわ…私がお願いしてみるわ!!」	アメリア「うーん…、困ったわねェ…院長先生はお出掛けして！ 〜 夕方までお帰りにならないのよ」 off セーラ「でも…なんとか…… 〜 お願いできないでしょうか。アーメンガードが可愛想なんです」		

	考えこむアメリアを、じっと見つめるセーラ		アメリア「うーん!!」
137	柱によりかかり、しょんぼりしている。カット尻で扉(手前の)を見る		
138	扉 BG ONLy		アメリア off〜on「じゃ、こうしましょう…〜…院長先生がお帰りになる夕方までに必ず帰ってくること」 セーラ「え…」 アメリア「でないと、私が院長先生にひどく叱られてしまいますからね」
139	セーラの方を見るアメリア セーラの方を向くアメリア		
140	にっこりとして、軽く会釈をして		セーラ「あ…有難うございます。アメリア先生!!」
141	うなだれているアーメンガード 扉が開く、アーメンガード見る セーラ出て来て扉をしめる にっこりと笑って小走りに近づくセーラ		セーラ「…お許しが出たわ、アーメンガード!」

142	グッと前に出て明るい顔になる アーメンガード 大きくうなづくセーラ にっこりと笑うアーメンガード		アーメンガード「え！…ほんと!!」
143	後向きで、にっこりとするピーター　T・B（早いT・B）密マルチで。　コート、帽子姿のアーメンガードとセーラ タヅナを振るピーター 前へ出ていく馬車		ピーター「よろしいですか、お嬢様!!」 セーラ　「ピーター、急いでね！」 ピーター「ハイ！　お嬢さま！」 ピーター「ジャンプ、出発だァ…!!」
144	出発していく馬車　out		
145	顔を見合せて微笑する二人 FOLLOW　ゆれるセーラの髪の毛		
146	奥へ行く馬車　ラヴィニアのスカートが入る		
147	にらみつけているラヴィニア		

148	走ってくるジェシィとガートルート		ジェシー「勝手だわー私たちなんて、めったに外出できないのに」 ガートルート「フン、馬車まで持ってるからって、ヒーキのしすぎよ」
149	C #147兼用 冷笑する		ラヴィニア「見てるといいわ、あの子たち今に思い知らせてあげるから」
150	回る車輪 FOLLOW		
151	街を行く馬車 FOLLOW 行き交う馬車		
152	馬車の上の二人、喜び笑っている FOLLOW 行き交う馬車		

（前半終了）

153	大通りを行く馬車 FOLLOW PAN ←		
154	橋の上を行き交う馬車の群れ （カット尻でセーラ馬車入る）		
155	渋滞しているところを通過していくセーラのポニー馬車　オドロイて見ている他の人々		
156	オドロキ見る他の人々 にこにこどしている二人 FOLLOW		
157	抜けていくセーラの馬車		
158	家並		
159	ものめずらしげに、きょろきょろと見ているアーメンガードと微笑しているセーラ FOLLOW		アーメンガード「私、こんな素敵な馬車で行けるなんて……夢みたい……
160	ポストに手紙を入れて去る女の		～ ありがとう…セーラ」

	子 奥の大通りを行き交う馬車が見える。セーラの馬車も見える	(off)セーラ「いいのよそんなこと……ねェ……イライザ叔母さまってどんな方…」
161	FOLLOW うなづくセーラ	アーメンガード「私を可愛いがってくれるの……大好き…」 アーメンガード「でも、お父さんは、おばさんのこと…変人だっていうの…」
162	うなづくアーメンガード	セーラ「どうして?」 アーメンガード「判んないけど……草を植えて喜んでるの、その叔母さん！」 セーラ「草を…!?」 アーメンガード「それで、薬を作ってるの……あっ、大変!!」
163	ピーター、御者台でにっこりする	セーラ「えーぇ!!」 アーメンガード「忘れたわ」 セーラ「…またー!!」
164	困った顔のアーメンガード、うなづく	アーメンガード「……誕生日のお祝いに花を持って行く約束だったの……どうしよう」

	前を見るセーラ		セーラ　「ピーター」
165	振り向くピーター タヅナをひと振りするピーター		ピーター「はい、お嬢様…」 セーラ「悪いけど…花屋さんに寄って頂戴」 ピーター「判りました、お嬢様」
166	コベントガーデンの大屋根 PAN・D　ひしめく人々		S・E　（人々の喧騒）
167	多山の人々　柱のかげからセーラ、アーメンガード、後にピーターが現れる。びっくりしている二人		ピーター「お嬢様、ここがロンドン名物、コベントガーデン・マーケットですよ」
168	コベントガーデンの人ごみ		off セーラ「だけど、花屋さんもここにあるの？」 ピーター「ありますとも」
169	行きかう人々		off ピーター「花市場から肉市場なんでもござれです」 S・E　（喧騒激しい）
170	花屋の店先、にゅっと顔を出すピーター		ピーター「よう…！　おばさん！」

171	172	173	174	175	176
振り返るおばさん	てれて頭をかくピーター セーラとアーメンガードが来る にっこりと笑うセーラ	大仰におどろいて 首をまげて挨拶するおばさん	軽く会釈するセーラ（可愛いくね） にっこりと笑う	見とれるおばさん 目をパチクリと気づくおばさん 照れて笑い	（後に通行人） ホホをふくらませて
花屋のおばさん「まァ…ピーター……、あんた いい働き口を見つけたんだってねェ」 〜	ピーター「へへへ…、このお嬢様の所さ…！」 （こぼし） セーラ「こんにちは……」	花屋のおばさん「ひゃあ…、まるでプリンセス 様みたいなお嬢様じゃないか…。よう こそ…」		花屋のおばさん「ホ……‼」 (off)ピーター「おばさん‼」 花屋のおばさん「へへへ……」 〜〜〜	（こぼし） ピーター「今日はお客として来たんだぜー。急 ぐんだ。早くしてー！」 花屋のおばさん「へえ…、するとお嬢様方が…」

	そっくり返るピーター		ピーター「そうよ!!」
177	二人顔を見合せてクスンと笑う		二　人「フフ……」
178	C#・兼用 前にかがみ、花を抜くおばさん		ピーター「誕生日のお祝いにする花なんだ！ たのむよ!!」 花屋のおばさん「ありがとよピーター。じゃ…」
179	花、見つくろっているおばさん 台の方へ行く		
180	次々とうつり、花を抜いていく おばさん		
181	キョロキョロと見廻わしている 二人をにこにこと見つめるピーター		
182	コベントガーデンの特徴ある建物 人がうごめく　PAN→		off花屋のおばさん「こんなとこでどうかね。 〜 一ペニーだけど…」
183	花束を差し上げて見せるおばさ		

	ん		
184	大仰におどろいて		ピーター「へ…!? そりゃないよ、おばさん……そんなんじゃ、半ペニーしか払えないよ」
185	大仰にあきれ返るおばさん、だが顔は笑っている 花束を差し出す		花屋のおばさん「ひェー!! ピーター! 相変らずだねェ……。いいよあんたのことだ、おまけしとくよ」
186	受取るピーター ピョイと足許の花一本を抜きとる		ピーター「ありがとうよ、ついでにおまけ一本」 花屋のおばさん「ピーター!」
187	ひょいと一本を束と一緒にしてしまうピーター。そしてにっこりと笑う		
188	アキレ返るおばさん おばさん大きく吐息をはく		花屋のおばさん「ああ…ァ、あんたにゃ負けたよ!!」
189	得得になって笑うピーターを感心して見て		ピーター「へへへ……」

	190	191	192	193	194	195	196
ピーター二人の方を向く A・C	いたずらっぽくウインクするピーター	唖然とした顔の二人　目をパチクリしている	←PAN 郊外　ロンドンが望見できる郊外の道をセーラの馬車がくる	進む馬車に乗っている三人 FOLLOW	ポニー進む　FOLLOW　見えてくる村落	馬車上の二人、ごきげんに顔を見合せたり景色を見ている FOLLOW	ゆらぐ水面に馬車が行くのがう

	つっている		
197	橋を渡って家の間をいく馬車		
198	家の間を行く馬車		
199	C# 兼用書き足し アーメンガード指をさし見るセーラ		アーメンガード「あ、おばさんの家…あそこ!!」
200	叔母さんの家、登る煙T・U(カット一杯)		
201	馬の足跡、わだちの跡がのこるぬかるみ道 逆セーラの馬車が泥をはね上げて行く。のこる足跡とわだち馬車止りかける		
202	馬車止まる 飛び下りるピーター		
203	ドロの中へ足おりる		

カット	画面		セリフ
204	ピーター		ピーター「アチャー!!」
	A・C		
205	ピーター、ふり返り、二人を見る 二人の方へ近づき毛布をとる 立ち上がるセーラ		ピーター「へへへ…、降りるとき気をつけて下さいお嬢様」
206	踏み台にかかる足		
207	JAMPして（軽々と）降りるセーラ		
208	振り返るセーラ		セーラ「気をつけてね…アーメンガード」
210	飛びおりていくアーメンガード		
211	降りるアーメンガードを手を出して助けるセーラ		
212	セーラの傍に並んで家の方を見るアーメンガード		セーラ「わあ…!! 可愛いおうち」
213			～ （こぼし）

	二人入って行く（先導にアーメンガード）	アーメンガード「行こ、セーラ」
214	玄関口に立つ二人　顔を見合せる二人　ノックをつかんで叩く アーメンガード（セーラ、やや後に立つ）	S・E（ノックは三回）
215	下がるアーメンガードを見つめているセーラ 二人顔を見合せる	S・E（急ぎ足の足音が聞える）
216	扉開いておばさん喜ぶ顔 アーメンガード、セーラの方を振り返る	S・E（ガチャガチャ） イライザおばさん「まあ、アーメンガード…、遅かったじゃない……。忘れてなかったのね」 アーメンガード「うん、お友達に馬車で送って貰ったの」
217	軽く会釈	セーラ「セーラです。はじめまして」
218	C＃216兼用書き足し　大仰に驚くおばさん	イライザおばさん「まあ……うれしい!!…この子にお友達が出来たなんて…、さあ…

	二人をうながすイライザ、にこにことセーラを見をアーメンガード、うなづき合って玄関へ入って行く 扉をしめようとして外を見て		「さ……まってたのよ…」
219	振り返る二人 呼ぶイライザ 振り向き、はずかしそうに		イライザおばさん「おや…〜あの子は⁉」 セーラ「ピーターです」 イライザおばさん「ペテロー！」 アーメンガード「ピーターよ」 イライザおばさん「おう…そうだったわね」
220	外へ出て来て呼ぶイライザ 後であきれる二人		イライザおばさん「ピート‼」 アーメンガード「これだもの！」 セーラ「フフフ……」
221	振り返るピーター、帽子をとって 工合悪そうに頭をかき オズオズと手前にくるピーター		ピーター「あの…おれ、おれのこと！」 イライザおばさん「そうよ‼ にぎやかな方がいいのよ。いいから入りなさい！」 ピーター「でも…靴が泥んこだし…」 イライザおばさん「いいのよ！ 泥くらい」 ピーター「ハ…ハイ」

222	イライザの前にくるピーター 家の中で帽子をとる二人 ピーター、泥落しで靴の泥をおとす 照れて笑うピーター 顔を見合せて笑うセーラとアーメンガード。つられてイライザも…		イライザおばさん「そこで落せばいいでしょ」 ピーター「ハ…ハイ」 イライザおばさん「そうそう…それで立派な紳士よ!!」 ピーター「ひゃあ…おれが…ですかあ…!!」
223	テーブルの上、お茶がイライザの手で差し出される		
224	起き上がるイライザ かしこまって座っているピーター		イライザおばさん「さ、私が育てたバラの花で作ったローズティよ、召し上がれ」
225	カップをとり上げるセーラ 呑む		セーラ「まあ、いい香り!!」
226	イライザを見上げてにっこりする。うきうきと菓子入れをとり上げ、セーラに差し出し。		イライザおばさん「まあ、うれしい。それからこれはラベンダーの花の砂糖づけ!!」 セーラ「いただきます」（セーラ満足そう

	アーメンガードにも差し出して ピーターの方へ行くイライザ		に口にする）
227	つまむピーター セーラ、アーメンガードにささやく。立ち上がるアーメンガード		イライザおばさん「あなたも、どう」 セーラ「アーメンガード！」 アーメンガード「あ…忘れてた」
228	C＃　兼用書き足し　手前の椅子の花束をとり、戻って来たイライザに花束を差し出し うけとるイライザ		アーメンガード「これ…お誕生日のお祝い」
229	大仰に 匂いをかぐイライザ		イライザおばさん「まあ、アリガト、アーメンガード」
230	はっとなるアーメンガード アーメンガード、ポーズをとり セーラを見てにっこりとするアーメンガード		セーラ「フランス語よ」 アーメンガード「コ…コマン……」
231	?!となるセーラ		

232	顔を上げてにっこりする	アーメンガード「…コマンタレブ…アント！」
233	大仰におどろくイライザ 満足そうに何度もうなづき、セーラを見て	イライザおばさん「まァ…とうとうフランス語をおぼえられたのね」 アーメンガード「ウフフ…、セーラのおかげなの」 イライザおばさん「ありがとう、セーラさん。アーメンガードにこんな素晴らしいお友達が出来て嬉しいわ。……今日はゆっくりしていって下さいね」 セーラ「ハ、ハイありがとうございます」
234	にぎやかなイライザおばさんの家　登る煙が天に消えていく にぎやかな笑い	イライザおばさん「後で薬をつくるところ、お見せしますからね」 アーメンガード「おばさん、また」
235	アメリアがいらいらと外を見ながら、左へ右へあるきまわっている	
236	イライラとしているアメリア 振り返り時計を見る　三時二十分位を示す時計　つぶやくアメリア	アメリア「遅いわ、早く帰って来ないと…」

237	にぎやかに談笑している一同 立ち上がるイライザ、扉の方へ		イライザおばさん「病気になっても、自分で作った薬で治しちゃうのよ」 セーラ「じゃ、ピーターのお母さんに作って下さると……」 イライザおばさん「まァ…どこか悪いの」 ピーター「心臓がずっとー!!」 イライザおばさん「まあ…それならクリスマスローズが一番！ いま作ってあげるわ」
238	見送る一同 アーメンガード、セーラを見て		S・E（扉の開閉の音） アーメンガード「ね…これだもの」 セーラ「でも、とてもいい叔母さまだわね ピーター」 ピーター「そうですともお嬢様…」
239	2Fの出窓で外を見ているラヴィニアたち三人 振り返る三人		S・E（馬車の止る音）
240	ジェシー、ミンチン先生のおこる真似をする。笑う二人		
241	四時前を示す時計 外を見て、		

	うなだれるアメリア		
242	馬車に座っている二人 退るイライザ		セーラ「じゃ、おばさま…ごきげんよう」 イライザおばさん「また遊びに来てね、今度はキャラウエイ・ケーキを作っておくわ」
243	夕方の空　どんよりとしている 冬の空 馬車、手前に走ってくる		ピーター「ごちそうさまでした」
244	廻る車輪　ＦＯＬＬＯＷ 遠く夕方のロンドンの街が見える。かすんで黒い		
245	ＦＯＬＬＯＷ タヅナを振るピーター		セーラ「ピーター急いでね」 ピーター「大丈夫です！　お嬢様。近道を行きますから」
246	Ｃ＃197同Ｐ（但し夕方である） 走るポニー馬車		
247	Ｃ＃　兼用　ゆれる車台にしがみついている二人。セーラ笑い		セーラ「しっかりつかまって、私たち今、シンデレラなの！」

カット	画面		台詞
	ながら　FOLLOW		アーメンガード「え……」
248	走る馬車　水面にうつるシンデレラの馬車 FOLLOW		(off)セーラ「ほら、王子様の舞踏会の帰りのところよ」
249	城を背にして走るシンデレラの馬車　T・B		
250	カボチャの馬車の中の二人 FOLLOW　顔を見せてにっこりとする		(off)セーラ「十二時までに帰らないと、魔法がとけて馬車はカボチャに戻っちゃうでしょ……、それで走って走ってやっと間に合うのよ」
251	馬車の中の二人たのしそう。窓から遠ざかる城　FOLLOW		
252	光をまいて奥へ行く馬車 光のみのこり O・Lして 夜の学院前になる。またたくガス灯や家の光 セーラの馬車入って来て止まる 二人、飛びおりて玄関へ走る		

253	玄関の扉、勢い良く手前に開いてセーラとアーメンガード入ろうとする愕然となる二人蔭が大きくなっていく（ゆっくり）		
254	鋭い目で立っているミンチン先生。手をのばすミンチン先生		ミンチン先生「アーメンガード…来なさい！」
255	手をひかれていくアーメンガード　ぼう然と見つめるセーラ		
256	手をひかれていくアーメンガード		S・E　（開閉する扉）
257	立ちつくすセーラ　手前をシーザーがゆっくりと行く（in・out）扉をしめてゆっくりとくるセーラ		
258	セーラくる　扉の前に寝そべるシーザー　扉の前で止り、扉を見つめる		(off)ミンチン先生「院長の私に許可を貰うのを忘れて！ 外出できるとでも～～
259	うつろな目をあげるセーラ		

260	鞭、手の中でしなっていく		(on) 思ってたん〜ですか」
261	うつむいているアーメンガード 帽子をにぎりしめて アメリアじっとミンチンを見つめて　前へ出るアメリアを制するミンチン先生		アメリア「…お姉様ですからそれは私が……」 ミンチン先生「あなたは黙って！」
262	うなだれ、帽子をにぎりしめる アーメンガード ギョッとなるアーメンガード		(off)ミンチン先生「こういう子供は、きつい罰を ……… S・E（ムチのはねる音）
263	ムチがはじかれる はっとなるミンチン先生		(on) 与えて教えるしかないのです」 S・E（扉の開閉）
264	セーラ飛び込んで 扉をしめて　前へ出る		セーラ「院長先生、アーメンガードを誘ったのは私なんです…罰を与えるなら、私に与えて下さい」
265	院長キリキリといかり　T・U （カット一杯）		

266	じっと見つめるセーラ		
267	ムチを握り前へ出るミンチン先生		
268	はっとなって振り返り、ミンチン先生の方へ走るアメリア		アメリア「お、お姉様!! 〜 …そんな事をして、もしセーラさんの お父さまに…」
269	哀願するアメリア…じっとこらえるミンチン先生　顔を上げてセーラの方を見る		
270	セーラにT・U（カット一杯）		
271	兼用　セーラからアメリアに目線をうつして、目をつむり、手を下におろす ほっとするアメリア		
272	ゆらゆらゆれるガス灯の炎		
273	注		ミンチン先生「セーラさん…アーメンガードを

274	きっとなってにらむ		かばうのは立派です。でも二度と ～ 同じ事をしたら絶対に許しませんから ね」
275	前に出てアーメンガードの傍へ 淋しげにセーラる見るアーメン ガード　うなづき見つめるセー ラ		セーラ　「ハイ！」
276	見つめる二人　T・U（頭から 尻止）　ゆがむくちびると逆立 つまゆ毛		
277	冬の枯木の枯葉が風にゆれてい る		
	O・L		
278	ゆれる木の葉がうつっている 廊下の二人　―間―		アーメンガード「…ありがとうセーラ ～ …でも私のためにあなたまで」
	O・L		
279	微笑むセーラ		セーラ　「いいのよアーメンガード」

280	淋しそうに笑って		アーメンガード「ね、セーラ…こんなことがあっても私のお友達になってくれる？」
281	うなづくセーラ		セーラ「私たち、もうとっくに親友の筈よ」
282	笑顔明るくなっていく 前へ出て		アーメンガード「嬉しい！…」
283	だき合う二人		
	O・L		
284	机に向ってペンを走らせるセーラ		N「　」
	O・L		
285			
	O・L		
286	手紙を書き続けるセーラ		

END